



地域の人との「信頼」を築く。
地域を巻き込むと「成果」が出る。

KAMOGAWA



「ありがとう」と「これからも」 各々が進める地域おこし

ているなど。観光局を通じて

気付いたのは、小諸は歴史的には、宿場町や商都として発達し認知される中で、多くの観光客も足を運んだ時代があったが、本格的な観光地として町をつくっていくためにはまだまだこれからやるのがたくさんあるということ。

鴨川 歴史的背景が今の小諸になっているんだね。観光局で自分の能力活かせるなって思うことある？

笠原 出身が小諸っていうことが活きてるかなと。新しく来た人へ小諸の説明ができた、昔のイメージが分かることで議論が深まったりとか。逆に、他の協力隊の人で子どももいるのに、数ある自治体の中で小諸を選んでくれて、ここで生活しようと考えてくれるというのはすごいと思った。
鴨川 小諸っていいところだよな。ただ、その良さを一枚の絵だったり言葉にするのが

難しいけど。

笠原 鴨川さんが開業するレストランの売りは何ですか？

鴨川 小諸産の食材でこんなにも美味しい料理ができることを伝えたい。そのことで地域の魅力の再発見につながり、地域おこしにつながると思うので。

笠原 小諸の野菜美味しいよね。近所の人が持ってきてくれる野菜とか特に。

鴨川 笠原さんは、英語塾をやるんでしょ？

笠原 はい！私は英語寺子屋教室を開きたいです。ただの英語塾というよりはコミュニケーションに人が気兼ねなく立ち寄れる「抛り所」のような場所になれたらいいなと思っています。



地域おこし協力隊

Profile

鴨川 知征 (45)
kamogawa tomoyuki

血液型 A 型

平成28年地域おこし協力隊として任命。3年間移住定住担当として活躍するなか、得意分野の料理を活かしたケータリング活動は、様々なイベントにひっぱりだこ。特に「浅間兄弟」としての活動は、今や地域に溶け込むほどだ。

鴨川 地域おこしは、個人だけの力では成果は出ませんし、地域の人とどれだけ協力できるかだと思います。この小諸と一緒に何かをやりたいと思っていますので盛り上げたいと思います！
笠原 3年間ありがとうございました。協力隊という肩書きがなくなっても、小諸のために自分ができることはやっていきますのでよろしくお願いします。

市民の皆さんに
メッセージをお願いします。

▶ 凄腕の料理人の2人組「浅間兄弟」。
現在は、一人加えて3人組で活動している。

